

令和 2 年度 S I P 第 2 期臨時課題評価の考え方について

令和 2 年 6 月 2 5 日
ガバニングボード決定

1. 臨時課題評価WGの実施について

「令和元年度 S I P 第 2 期課題評価結果への対応について」(令和 2 年 2 月 2 7 日のガバニングボード決定)の決定に基づき、令和元年度 S I P 第 2 期課題評価結果で「A」より低い評価を受けた以下の 2 課題について、5 月 2 5 日に臨時課題評価WGを開催し再評価を実施した。また、令和 2 年度当初配分時点で未配分の予算について、同臨時課題評価WGにおいて、追加配分することが適当であるか否かの審査を行った。

表 1 : 再評価対象課題

課題名	プログラムディレクター
I o E 社会のエネルギーシステム	柏木 P D
スマート物流サービス	田中 P D

2. 再評価の考え方について

令和元年度課題評価における評価基準、評価項目との整合性及び継続性を確保するため、前回課題評価の審査の視点に基づき審査を行い、「A」評価基準の点数を超過しているかについて確認した。すなわち、「I o E 社会のエネルギーシステム」については、令和元年度課題評価における審査の視点に基づき再評価を行い、「A」評価基準である 175 点を上回っているかどうかを確認した。また、「スマート物流サービス」については、令和元年度課題評価において、平成 3 0 年度課題評価の審査の視点に基づき評価を行ったことから、再評価においても平成 3 0 年度課題評価の審査の視点に基づき再評価を行い、「A」評価基準である 100 点を上回っているかどうかを確認した。

3. 追加配分の審査の考え方について

令和 2 年度当初予算において留保してきた予算について、当初計画に加え課題間連携の加速に資する施策のうち早期に着手すべき施策及び新型コロナウイルス感染症対策に資する施策に絞って追加配分の施策候補とすることとして、追加配分することが適当であるか否かについて審査を行った。臨時課題評価WGにおいては、課題との整合性が図られているか、研究開発の加速・拡大に期待が出来るか、課題間連携の促進に資するか(関係がある案件のみ)、新型コ

ナウウイルス対応に資するか(関係がある案件のみ)の観点で審査を行い、採択の可否について判定を行った。最終的に、採択の可否の判定において、「C」判定以外の得票率が最多となる場合に、採択することとする。

また、採択することとなった案件について、採択の可否の判定における最多得票率となる判定結果を比較し、追加配分案件の優先順位を定める。その上で、留保している予算の総額と追加配分案件ごとの要望額を確認し、それぞれの追加配分案件に対する配分額をガバニングボードにおいて決定する。

表 2：臨時課題評価WGにおける追加配分審査の視点

採否判定	判定結果	
採択の可否	A+	最も優先的に追加配分すべきである
	A	優先的に追加配分すべきである
	B+	追加配分すべきである
	B	追加配分することを妨げない
	C	追加配分すべきではない
審査の視点	評価基準	
1．課題との整合性	十分整合している	
	概ね整合している	
	整合していない	
2．研究開発の加速・拡大	非常に期待できる	
	期待できる	
	期待できない	
3．課題間連携の促進	非常に効果が期待できる	
	効果が期待できる	
	効果が期待できない	
4．新型コロナウイルス対応	非常に期待できる	
	期待できる	
	期待できない	

4．臨時課題評価WGの採点結果・ランク付け

(1) 再評価課題の採点結果

臨時課題評価WGにおける再評価課題の採点結果とそれによるランク付けは次の通り決定する。

表 3 : 再評価課題の再評点数

課題名	採点結果	ランク付け
I o E 社会のエネルギーシステム	176.9 点	A
スマート物流サービス	109 点	A

表 4 : ランクと点数の関係

評価	標語	令和元年度評価におけるランク付け (得点率)	平成 30 年度評価におけるランク付け
S	極めて挑戦的な高度な目標を達成し、実用化・事業化も十分見込まれており、想定を大幅に上回る成果が得られている。	315 (90%) S	140 S
AA	適切に設定された目標を大幅に達成しており、実用化・事業化も十分見込まれており、想定以上の成果が得られている。	280 (80%) AA < 315 (90%)	130 AA < 140
A+	適切に設定された目標を達成しており、実用化・事業化も十分見込まれるなど、想定以上の成果が得られている。	245 (70%) A+ < 280 (80%)	120 A+ < 130
A	目標の設定・達成ともに概ね適切であるなど、当初予定どおりの成果が得られている。	175 (50%) A < 245 (70%)	100 A < 120
A-	目標の設定又はその達成状況が十分ではないなど、予定を下回る成果となっている。	140 (40%) A- < 175 (50%)	90 A- < 100
B+	目標の設定又はその達成状況が極めて不十分で、予定	105 (30%) B+ < 140 (40%)	80 B+ < 90

	を大幅に下回る成果となっている。		
B	目標の設定、その達成状況 その他大きな改善を要する 面がみられる。	B < 105 (30%)	B < 8 0

(2) 追加配分の採点結果

臨時課題評価WGにおける追加配分施策の採点結果は次の通り決定する。

表5：追加配分案件の採否判定の結果

課題名	案件名	採択の可否判定における 各判定結果の得票率					採否の 判定	優先順 位
		A+	A	B+	B	C		
ビッグデータ・AI を活用したサイバースペース基盤技術	分野間データ連携基盤の連携拡大	30.8%	15.4%	<u>46.2%</u>	7.7%	0%	採用	3
フィジカル空間デジタルデータ処理基盤	課題間連携によるセンサフュージョン技術の社会実装加速	0%	21.4%	35.7%	<u>42.9%</u>	0%	採用	4
IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ	サプライチェーンにおける製造者側と利用者側の連携強化	7.1%	<u>50%</u>	28.6%	14.3%	0%	採用	2
国家レジリエンス(防災・減災)の強化	防疫体制下の防災・減災にかかる研究開発	21.4%	<u>64.3%</u>	14.3%	0%	0%	採用	1

以 上